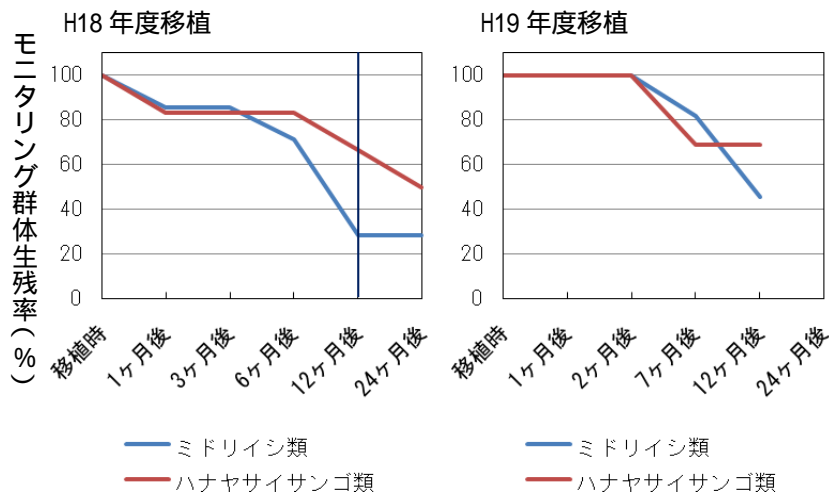


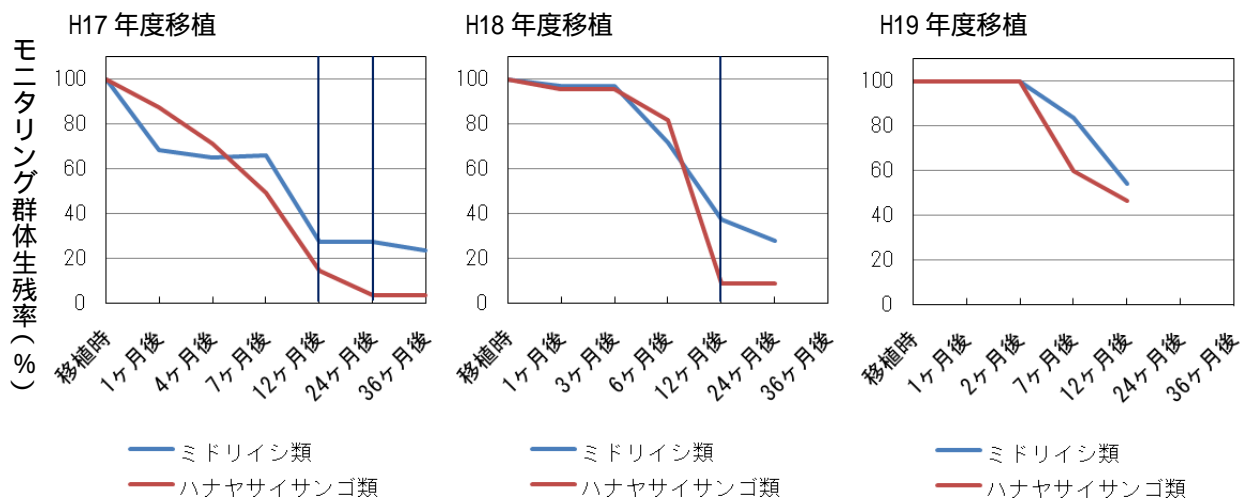
移植後の移植群体の推移について

着床具設置から 19~21 ヶ月後(12~2月)に移植。移植群体の生残率および直径を算出したもの。

再生区 3



再生区 4

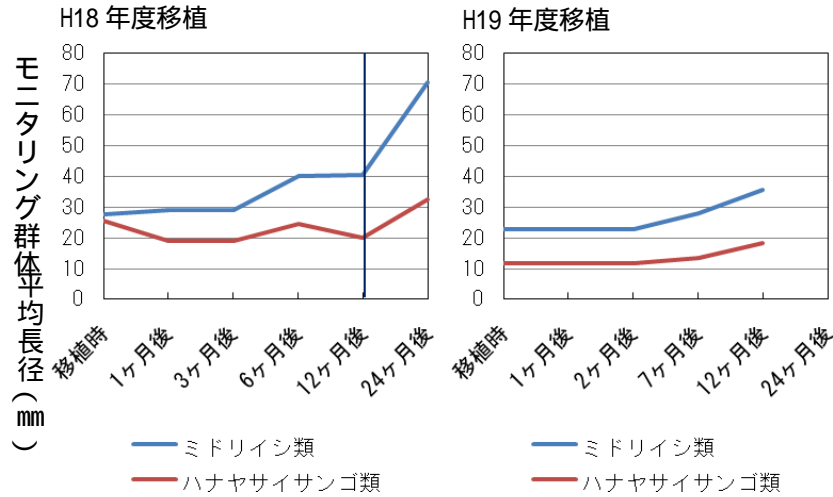


再生区 3では、ミドリイシよりハナヤサイサンゴが、再生区 4ではハナヤサイサンゴがミドリイシより生残群体数が高い傾向にあった。

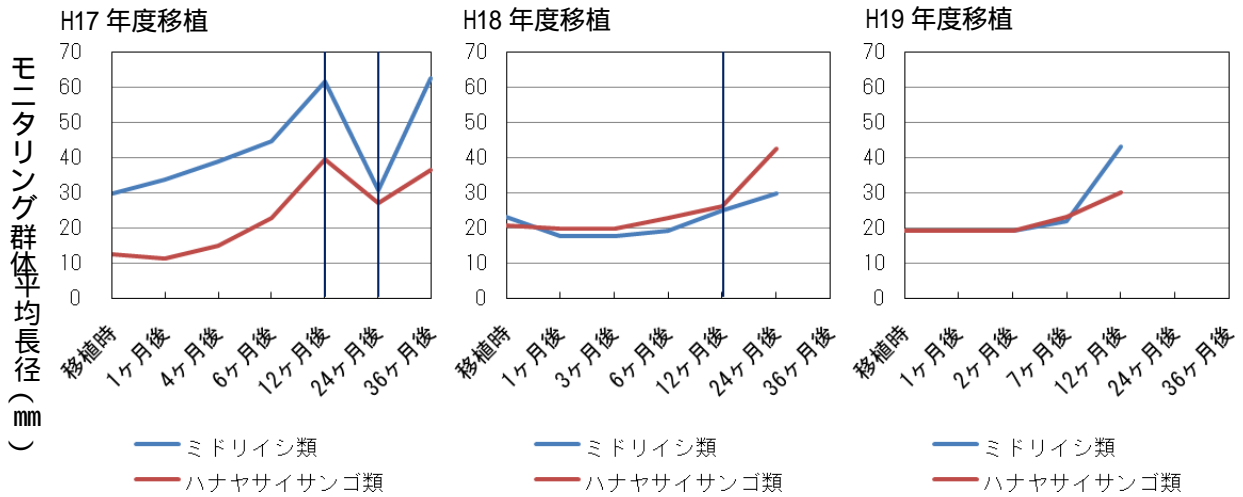
再生区 4では、礁池平坦面・岩盤に移植したH17、H18年度移植群体に比べ、離礁尾根上・岩盤に移植したH19年度移植群体の生残率が高い。

*全移植海域における移植1ヶ月後のモニタリング調査(H21年3月実施)では、全ての移植群体が確認されている。また、明瞭な成長量の変化はみられない。そのため上図には含まない。

再生区 3



再生区 4



全体的に移植後の長径は増加する。

H19 年夏季に八重山周辺海域では大規模な白化が確認された時期は、18 年 2 月に移植した群体では 12~24 ヶ月の間に、H18 年 12 月に移植した群体では 6~12 ヶ月の間にあたる。

移植選定海域内における移植ユニット設置数及び箇所（地形・底質）の変更点：

| | 地形・底質 | H16 年度設置 H18 年 2 月移植 | H17 年度設置 H18 年 12 月移植 | H18 年度設置 H20 年 1 月移植 | H19 年度設置 H21 年 2 月移植 |
|-------|-----------------------------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 再生区 3 | 礁湖平坦面・ 枝状礫堆積 (補助具使用) | | 1 ユニット | 1 ユニット | 2 ユニット |
| | 総移植種苗数 | | 205 | 330 | 600 |
| 再生区 4 | 礁池平坦面・ 岩盤 | 17 ユニット | 2 ユニット | | |
| | 離礁尾根上・ 岩盤 | | | 3 ユニット | |
| | 礁原縁辺直立 面・岩盤 | | | | 4 ユニット |
| | 離礁直立面・ 岩盤 | | | | 1 ユニット |
| | 礁池平坦面・ 枝状礫堆積 (補助具使用) | | | 1 ユニット | |
| | 岩礁急傾斜 面・死サンゴ塊 (補助具使用) | | | | 1 ユニット |
| | その他** | | | 2 ユニット | 4 ユニット |
| | 総移植種苗数 | 5,100 | 600 | 941 | 2,299 |
| 再生区 5 | 礁池平坦面・ 岩盤 | 1 ユニット | | | |
| | | | | | 300 |
| 実証区 1 | 離礁直立面・ 岩盤 | | | | 4 ユニット |
| | 総移植種苗数 | | | | 1,216 |
| 実証区 4 | 離礁直立面・ 岩盤 | | | | 3 ユニット |
| | 総移植種苗数 | | | | 780 |
| 合計 | | 5,400 | 805 | 1,271 | 4,895 |

*再生区 4 に関しては、H18 年移植に関しては「礁池平坦面・岩盤」に移植した群体のデータ、H19 年移植に関しては「離礁尾根上・岩盤」に移植した群体のデータのみを前図に使用した。

**その他とは、「小群体移植」、「集中移植」などが含まれる。